

社会福祉法人 はるかぜ福祉会

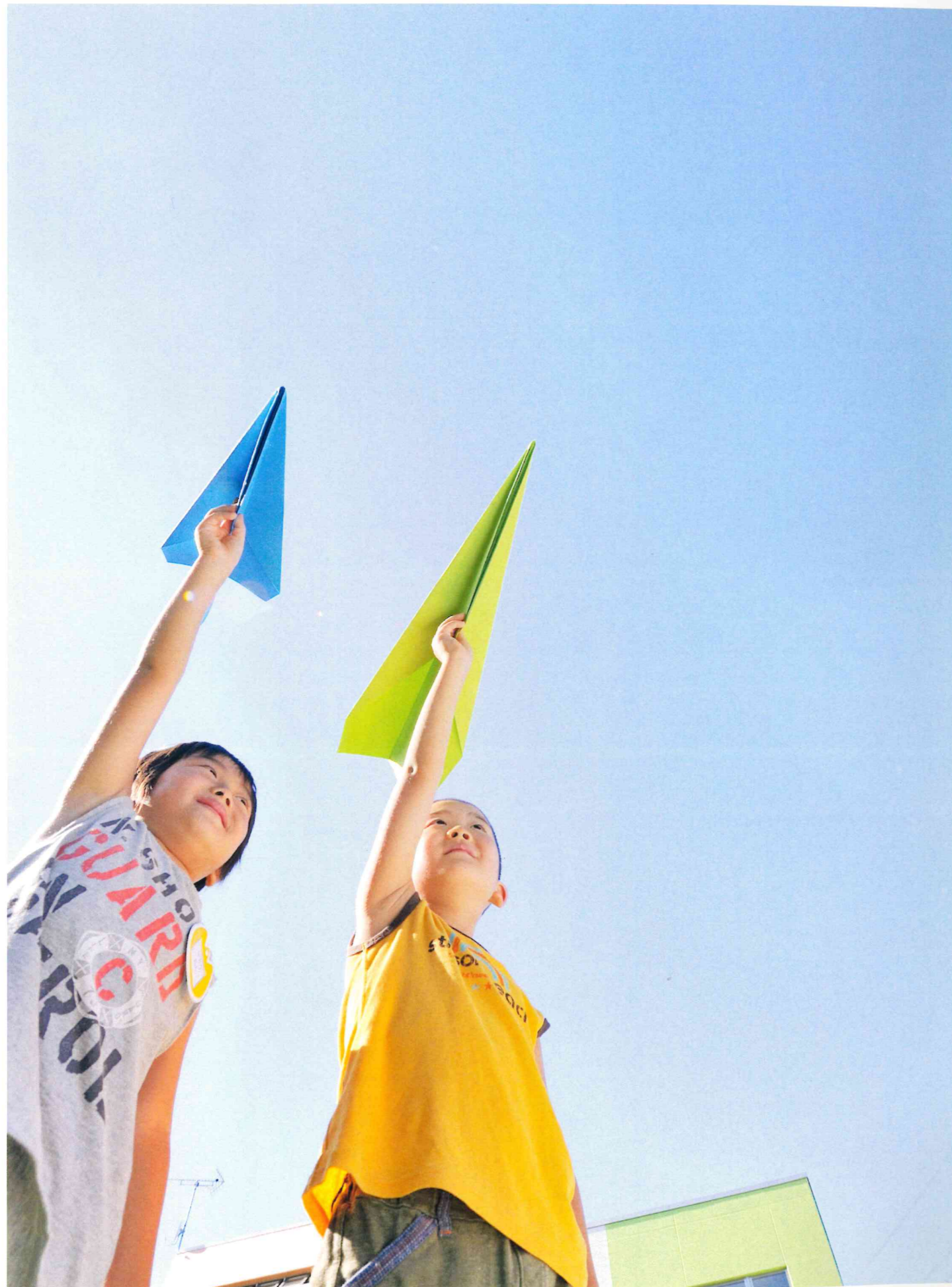
所在地住所 宮城県岩沼市押分字水先5番6

連絡先 電話番号:0223-25-6670



社会福祉法人はるかぜ福祉会 ご案内

心身ともに健やかな子ども 自然を友とし慈しむ子ども 考える事を喜びとする子ども



社会福祉法人 はるかぜ福祉会

- 岩沼はるかぜ保育園
- 多賀城はるかぜ保育園
- 榴岡はるかぜ保育園
- 白石はるかぜ保育園



ごあいさつ

当法人は日本の少子化を憂い、少しでも我々に出来る事はないかを考えるとともに、日本の女性の益々の社会進出を図ることを目的として設立いたしました。

0歳児から5歳児までの期間はとても重要な期間であります。子どもを取り巻く環境は良いとは言い難い状況です。子供にとって良い環境を与えることが出来るのは「大人」であり、「大人」にしか変えることが出来ません。また、「三つ子の魂百まで」と言われますが、これは非常に怖い言葉であり、深遠な言葉でもあります。我々はこの人間形成に重大な影響を及ぼす期間に携わり、より良い方向へ子ども達を導ける養護を行えるよう日々精進するとともに、子ども達に安全で、生涯にわたり心に残る場所を与えたいと思っておりますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

理事長 東海林 和博



設立理念

はるかぜ福祉会は、日本が抱える少子高齢化という大きな問題に対し、解決の一助となるべく、地域の就労世帯が安心して子どもを産み育てることが出来る環境の提案と、生まれてきた子どもがより良い生涯を全うできるよう、保育を通じて自己の成長の手助けを行うことを目的とし、平成22年7月に設立をいたしました。我々の目指す保育は、子ども達が自ら考え行動し、将来における自己実現へのきっかけづくりを行う事です。子ども達1人1人に成長や思考に個性があります。当法人はその個性と向き合い、1人でも多くの子どもの可能性を引き出し、将来の糧となる保育を目標としております。

少子高齢化
対策

地域活性

子育て支援



運営方針



心身ともに健やかな子ども

「健全なる精神は健全なる肉体に宿る」という言葉にもあるように、心と身体は表裏一体の関係にあります。

心と身体のバランスが取れ、豊かな喜怒哀楽を表現できる子どもを育てるには愛情を持ったしつけが不可欠となります。わたしたちは保護者と連携を深めながら心身ともに健やかな子どもを育てる支援をしていきます。



2 自然を友とし慈しむ子ども

自然を愛することの出発点は自らの生まれ育った故郷を愛することです。

子どもの頃から故郷の自然に親しみ、故郷を愛する。

この郷土愛は家族愛にもつながり、さらには日本を愛することにも

つながっていくとわたしたちは考えます。

3 考える事を喜びとする子ども

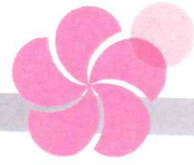
これまでの「保育」の概念よりも一歩二歩先へ進み、「考える力」を育む場をつくる。

そのためにはまずわたしたちが常に考え、常に新しい風を吹かせる存在である必要があります。

わたしたちはこれまでにない新たな価値を生み出し、

変化し続ける保育園を目指します。





園の特色



子どもにとって保育園は一日の半分を過ごす生活の場です。

特に0歳～5歳までの子どもにとっては食事・運動・友だちとの関係など、

生きる術の基本を習得する場になり、そこが人生の基礎となります。

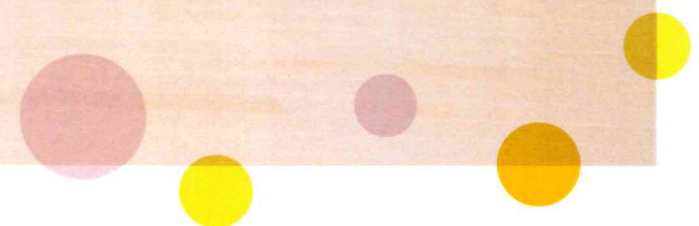
私たちが提案する保育園はそんな一日の過ごしの中で、

どれだけたくさんの物事に触れることが出来るかを大切に、

子どもが生涯にわたり興味を持てる物事の発見の手助けができる保育を目標としております。

押し付けるのではなく、好奇心を湧き立たせる機会を提案し、保育士がそれをサポートし、

様々な事を体験し、発見出来るよう心掛けております。





保育内容のご紹介

日常生活の中に 異文化に触れる機会を提供

外国文化に興味をもてる環境を日常に設置し、子供が興味を抱いたときに英語で話しかけるという環境を大切にしております。英語を教えるという視点ではなく、英語も含め異文化に興味をもってもらうきっかけづくりを心掛けております。それゆえ4～5歳児を対象とし、週に1回(各年齢週1回づつ)2時間外国人講師と生活を共にし、コミュニケーションをじっくり図るよう活動しております。



食育活動

日本や地域の食文化を日々の給食献立に積極的に取り入れるほか、七草粥やスイートポテトづくり体験等、実際に自分達が調理に関われる機会を設け、食物に対する感謝や尊さを学習できる保育をめざしております。また、保育園での食物栽培を行い、子ども達に食物の成り立ちや自分達で栽培した野菜を収穫できる喜びを感じられる活動も行っています。



経済活動の体験

子ども達が様々な模擬店を開き、子ども達が日々の保育で作ったおもちゃや小物を模擬通貨で売買する「おみせやさんごっこ」を年に数回取り入れております。この活動を通し、日々の生活の基礎を体験し、経済の基礎を楽しみながら体得できるよう取り組んでおります。また今後は職場見学や体験活動も積極的に園外保育に取り入れたいと考えております。



生活の中にスポーツや 知的・文化的活動を取り入れる。

自己表現や思考力を高める為、絵画の先生や将棋の先生、プロスポーツ選手などをお招きし、保育活動に取り入れております。アート活動や将棋、サッカー教室等を通し、子ども達の可能性を引き出すきっかけづくりの場を作るよう取り組んでおります。





年間行事予定

はるかぜ保育園の行事は郷土文化を取り入れながら、
運動会・発表会を2大イベントとして位置づけ、
保護者様と子どもの成長を実感でき、
かつ子どものやる気を引き出す行事作りを行っております。
その他にも園外保育(遠足)や季節を感じる
イベント(七夕会・豆まき会等)を取り入れ、
子ども達に興味・発見の場を提供できるよう企画しております。



プール開き



夏祭り



9月

8月
プール開き

7月
七夕会

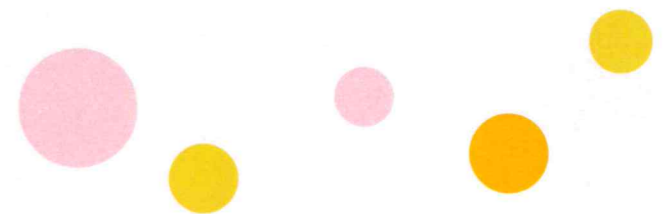
6月
園外保育
(0歳~2歳児)

5月
こどもの日

4月
入園式



お誕生会



お遊戯会

3月
ひな祭り会
卒園式

2月

1月

卒園式

12月

11月
お遊戯会

10月
運動会・園外保育
(3歳~5歳児)

運動会



施設のご紹介

岩沼はるかぜ保育園

平成23年4月1日開園

宮城県岩沼市押分字水先5番6 電話番号:0223-25-6670

施設概要:鉄骨造平屋建

床面積:786.23㎡ 敷地面積:2,099.91㎡

開園時間:AM7:00~PM7:00



園の立地

保育園の周辺は新しい住宅地が近くに広がる一方、阿武隈川や田圃など豊かな自然に囲まれております。恵まれた自然環境を十分に活かし、子ども達の健全な育ちをご支援いたします。



岩沼はるかぜ保育園での日々の過ごし

晴れた日は広い園庭で遊び、雨の日はランチホールにて音楽に合わせたリズム遊びやマット運動などを取り入れております。給食は『食育』の一環とし、作り手との会話を大切にしたいと考え、厨房から直接給食を提供できる作りとなっております。

また地域交流としまして、定期的に当園の園庭を開放し、地域の方々と触れ合う機会を設けるほか、保育園バスを利用し、ご近所の老人福祉施設などへ積極的に訪問し、子ども達の情操教育に努めております。

セキュリティに関しましては、不審者対策として警備会社との警備委託はもちろんのこと、玄関中扉を電子ロック式にしておりますので、万が一の場合も外部からの侵入を最小限にするよう心がけております。



英語保育について(岩沼・多賀城はるかぜ保育園にて実施)

週に1度ネイティブの英語講師をお招きし、子ども達の生活や遊びに『英語・外国の人・異文化』を感じる環境を用意しております。この保育活動を通し、文字や文法を教えるのではなく、子ども達が外国での文化(ハロウィン・イースターなど)や遊び(英語歌遊びなど)を知り、外国への興味や好奇心を養うきっかけになるよう取り組んでおります。





施設のご紹介

多賀城はるかぜ保育園

平成24年5月20日開園

宮城県多賀城市高橋4丁目1番6 電話番号:022-368-6870

施設概要:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 床面積/970.06㎡ 敷地面積/1,078㎡

開園時間:AM7:00~PM7:00



園の立地

田園風景と住宅地に囲まれ、園舎の後方にはサッカーグラウンドが広がっております。東部道路やJR仙石線にもほど近く、また大型スーパー等も近く、利便性に富んでおります。そのような立地を生かし、当園は子ども達の生活はもちろん、保護者様の生活もサポートできるよう心がけております。



多賀城はるかぜ保育園での日々の過ごし

1階部を0~2歳児、2階部を3~5歳児の生活の場を切り分け、子ども達の生活が落ち着くよう配慮しながら保育を行っております。1階部の保育室は全面床暖房を敷いており、寒さが厳しい東北の冬でも温かく生活できるよう配慮しております。

恵まれた環境を生かし、散歩や園外保育を積極的に取り入れ、子ども達の小さな発見を大切にする保育を心がけております。

焼き芋会などの行事等には地域の方々をお招きし、子ども達の発達の様子や当園の保育の取り組みなどをご理解いただけるよう努めております。

セキュリティに関しましては、不審者対策として警備会社との警備委託はもちろんのこと、玄関中扉には関係者以外は解除できないボタン型の自動ドアを採用しておりますので、外部からの侵入を最小限にするよう設定しております。



園外保育について

当法人では法人所有の保育園バスを利用して、園外保育を積極的に行っております。

多賀城はるかぜ保育園では『心身ともに健やかな子ども』の育成の一環として、夏季に市民プールでの水泳指導(4~5歳児を対象に5月~9月まで/月2回予定)を行い、保育園のプールでの水遊びとは違う、『水を怖がらないで泳ぐことを経験する』取り組みを行っております。

ほかにも社会見学の一環とし、JR東日本新幹線車両センターの見学や市民公園などへの園外保育に取り組んでおります。





施設のご紹介

白石はるかぜ保育園

平成25年4月1日開園

宮城県白石市東町3丁目1番1 電話番号:0224-26-9330

施設概要:鉄骨造平屋建 床面積/813.38㎡

敷地面積/2,990.05㎡

開園時間:AM7:00~PM7:00



園の立地

JR東北本線 白石駅とJR新幹線 白石蔵王駅の間にある閑静な住宅地に白石はるかぜ保育園はございます。蔵王の山々や白石城とその城下町など、自然と歴史文化に恵まれており、四季折々の季節や歴史に合わせた保育活動を行っております。



白石はるかぜ保育園での日々の過ごし

岩沼はるかぜ保育園同様の『芝生の園庭』で子ども達はボール遊びや虫取りや木登りなど、自分達で遊びやルールを考え遊んでおります。園内は調理風景が一望できる厨房や、雨や雪でも子ども達がのびのびと遊べる遊戯室(床暖房設置)等を設置し、子ども達が安心・安全に生活し、好奇心や興味を引き出せる環境を用意しております。

また、同市内の大型プールやリサイクル施設をはじめ、白石城や自然公園などの郷土文化や自然環境を体験できるように園外保育に努めております。

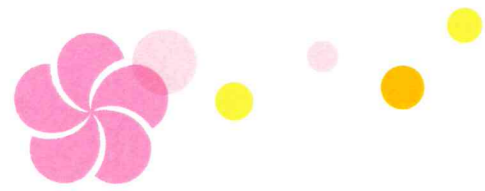
セキュリティに関しては、多賀城はるかぜ保育園と同様の警備、部外者侵入防止体制をとり、子ども達の安全確保に努めております。

非常時用食料品や備品の備蓄整備について (岩沼・多賀城・白石はるかぜ保育園共通)

法人の運営する保育園では先の東日本大震災での体験を教訓とし、災害時に園児と保護者の皆様、職員を守るべく災害用食料品の備蓄と備品関係常備しております。食事については『すべての在園児が保護者様の元へ丸1日お渡しできない状況』を想定し備蓄を行っております。

また、紙おむつや粉ミルク、発電機(白石はるかぜ保育園は太陽光発電設備を設置)、投光器等を整備し、有事の際には地域の方々の子育て支援を行えるよう備えております。





施設のご紹介

🌸 榴岡はるかぜ保育園

平成28年4月1日開園

仙台市宮城野区榴岡5丁目7番1号 電話番号:022-794-8320

施設概要:木造2階建て 床面積/762.80㎡

敷地面積/842.65㎡

開園時間:AM7:00~PM8:00



園の立地

保育園の周辺はマンションやビルに囲まれている一方、目の前には日当たりのよい広々とした公園があります。

JR仙石線・榴岡駅が徒歩4分のところにあり、またスーパーも近く利便性に富んでおります。

そのような立地や環境を活かし子供たちの健全な育ちの支援はもちろん、保護者様の生活もサポートできるよう心掛けております。



榴岡はるかぜ保育園での日々の過ごし

目の前には榴岡5丁目公園があり、榴岡公園へも徒歩10分と近く、自然と触れ合える環境が広がっています。

公園への散歩や園外保育、晴れた日の園庭遊びや夏のプール遊びなど、都会の中でも身体をのびのびと動かせる保育を行います。

園舎においては、ホールをより広く活用できるように、隣接する4・5歳児の保育室の扉を全て格納しひとつの空間として広々と使える工夫を取り入れた造りとなっております。3歳未満児の保育室は床暖房を完備し、夏は園庭へつながる外部窓を開放しても安全なように柵を設置し、快適性と安全性を確保しています。保育園入口の門は鍵を二重にし、子どもが開けられない造りになっておりますので、飛び出しなどを未然に防ぎ安全面に配慮しております。

また法人所有の保育園バスを利用し、サッカー教室やリズム運動、芋掘り遠足など姉妹園との交流保育を行い、子どもの健全な心身の育成に活かしていけるように努めております。セキュリティーに関しては、24時間警備と、部外者侵入防止体制をとり、子ども達の安全確保に努めております。



一時預かり保育・延長保育について

榴岡はるかぜ保育園では、保護者の疾病や事故等で緊急・一時的に家庭保育が困難となる児童、育児等に伴う心理的・肉体的負担を解消する等の私的理由により一時的に保育が必要となる児童に対し一時預かり保育を行っております。

ほかにも2時間の延長保育(土曜日は1時間の19時まで)も行っており保護者様のサポートにも努めております。



社会福祉法人はるかぜ福祉会

法人理念

我々が関わる全ての人たちに対し、 未来に希望をもって生き抜く力を育む

利用者(子ども達)だけではなく、保護者はもちろん
法人で働く職員も含む人々が未来に希望をもって生涯を全うできるよう、
法人は職員へ専門知識を学ぶ機会と、常に最善の職場環境や
職員の生活基盤の確保を追求し、職員は利用者及びその保護者、地域に対し、
専門家として常に最善の支援を行い、関わる全ての人が
希望をもって生きることが出来るよう追求することを理念とする。

設立の思いと『はるかぜ福祉会』の名称の所以

藤原道真の詠んだ和歌

『東風(こち=はるかぜ)吹かば匂ひをこせよ 梅の花 主なしとて 春な忘れそ』
の東風に由来して、設立者である東海林和博が、法人名をはるかぜ福祉会と命名。
もともと低い身分であった道真だが、学問に優れていたため、
右大臣(帝を補佐する朝廷の最高機関 太政官の一つ)にまで出世、
しかし当時の左大臣、藤原時平からねたまれ、あらぬ罪で大宰府に左遷させられた。
その時に、梅が大好きだった菅原公が京都の紅梅殿の梅に向けて詠んだ歌である。
菅原道真のように文化や学問を愛し、さらには社会福祉を
今後発展できるような東風(はるかぜ)を吹かせたいとの思いが法人名に宿っている。
我々はるかぜ福祉会の職員は、設立者の思いと運営理念を理解し、
関わるすべての人の幸福追求と社会福祉への
新しい東風を吹かすことが出来る存在になるべく邁進することを期待する。